

会長メッセージ

No. 32

先日、全日本弓道連盟の理事会で、来年度の予算案が審議されました。また、奈良県弓道連盟でも、来年度の予算案が提出されました。いずれも赤字予算で、特別会計の取り崩しが必至です。

全弓連では、名誉会員の加入を積極的に呼びかけることになりました。また、事業の見直し、補助金や助成金の見直しも検討されました。

奈弓連でも、一般の国体強化費の返金でどうやら、大きな赤字にならなくてすんでおりますが、今後、事業や、補助金の見直しも必要かと思われまます。

公益法人としては、収入に見合った事業を行い、過剰な遊休財産は、趣旨に反することになりますが、いつまでも、特別会計の取り崩しに頼るわけにもいきません。

健全会計には、会員増が不可欠です。今後、弓道の普及・振興に努力して、会員増をはかりたいものです。皆様のご協力をお願いします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

■ひと味違った(?)今年度の称号者研修会

指導部; 西浦範光

2月25日・26日の2日間橿原公苑弓道場で今年度の称号者研修会が開催されました。受講生は年々増え、今年度は錬士32名、教士12名、計44名でした。

役員の手違いで青森の川村先生ではなく、本連盟の吉本会長と須田副会長のお二人にご指導をいただきました。

そこで、普段なかなか出来ない研修をしようと会長自ら研修内容の吟味を行い、基本体・基本動作の見直しや、介添の基本動作を徹底して行いました。一つ一つの動作や心構えの注意点を

受講生に質問形式で確認を行い、実行していく研修は、受講生にとってしっかり身に付いた研修ではなかったかと思ひます。➤



最後の仕上げ行射での体配は、私が見ていてもその上達ぶりがよくわかりました。



前号で阪中氏が基本の大切さを中央研修の中で体験し、その必要性を強く私達に訴えていました。その重要な基本体及び基本動作の習得に必要な考えや体感をこの研修会で学んだように思います。後はそれぞれの支部で実践あるのみです。射技に比べて体配は、修練すればするほど上達し、衰えることはないといひます。いい研修であったかどうかは、皆さんのこれからの努力次第だと思ひます。1年後にはさらに上達した皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。お互いに頑張りましよう。

■平成23年度大学連合講習会開催報告

2月12日奈良市弓道場において県内6大学35名が受講しました。(欠席2名)

新司正人主任講師のもと基本体の実習(特に審査をうけるにあたっての体配の呼吸の大切さ)、また射法訓の内容説明では理解して弓を引くこと、的にあてるためには骨格、気持など様々な問題点はありますが、弓道八節を理解したうえで引き終わるまでのバランスの固持は大事と説かれました。

同時に教本の八節図解の説明で天紋線に正しく弓を添わせる意味、角見の働き、また息合いなどの大切さの説明。礼、揖では入退場時の対象物と正対(神棚、国旗、八幡柱、二射場の時は審査委員長など)する、特に退場口では弓の長さで距離を測るなど、体配、射技とも普段からの重ね練習の必要性を説かれました。

午後からは一回でも多く個人指導で見てあげたいという主任講師の配慮もあり、4班に分かれて午後4時過ぎまで射技指導。

”基本を中心に何か1つでも練習の目標になる、試してみろという気持ちをもって帰ってもらえたら良いと思ひます”という主任講師の挨拶で閉会しました。

寒風の中本当にみなさん熱心に受講されてました。各大学にもどられてこれからの練習のなかで他の部員の人達にも少しでも何かを伝えてもらえたらと思ひます。

(新司、西浦、平木、吉岡 記)

優勝おめでとう！！

村高恵利子さん (奈良市協会)

中日本女子弓道大会 (四、五段の部)

◆全日本女子弓道大会 中日本の部 に参加して (記：村高恵利子)

平成24年3月11日(日)愛知県の日本ガイシスポーツプラザ弓道場で開催。

前日から宿泊し、寒い朝を迎えました。自他共に認めるあがり症の私は、場慣れする事を大きな目標に参加しました。その次に、丁寧に引く事(特に打ち起こし→大三→引き分けの引き始め)を念頭に、後は野となれ山となれという思いで臨みました。

四・五段は約240名中23名の予選通過者が決勝戦に進出。奈良の選手では私を含めて

3名が予選通過、私には予選通過だけで満足でした。同じく決勝戦に進出した弓友が、控えて待っている中、初めての事で、



不安で緊張してきた私に、リラックス！と声を掛けてくださって、ホッとした気になりました。

そして、もう一度、最後まで丁寧に引く事だけを考えて引こうと自分に言い聞かせて道場に入りました。

23名が10名になり、10名が4名になり、4名が2名になり、1位2位決定戦。その中にいる自分がとても不思議でした。そして、私のような者が優勝というものをいただけることになりました。夢にも優勝などと思ったことがない事が起こり、気恥ずかしさでいっぱいでした。

控えに戻って、深田先生、明瀬先生をはじめ一緒に参加した奈良の選手の方々が、とっても喜んでくださって、とても幸せな思いになりました。心細さも無く、臨めたのは、やっぱり両先生と一緒に参加した仲間が傍にいたからこそだと思っています。ほんとうにありがとうございました。これからも、また少しずつ精進していかなければと改めて感じています。

=====
編集子:本号をもって降板、土谷先生に引き継ぐことになりました。4年余に亘って、毎月必ずやってくる編集作業は私にはよい緊張と刺激でした。一度も欠かさずやってこれたのは吉本会長の熱意とリーダーシップのお陰です。皆さまありがとうございました。(伊藤 浩)

◆第13回奈良県弓道団体選手権大会 (兼全日本勤労者弓道選手権大会 県予選会)

平成24年2月19日(日) 橿原公苑弓道場

参加：46チーム(1チーム3名)

▽予選通過

高田商業高校(女子) 皆覇A、橿原I、

平城高校(男子) 五條高校(女子)

日置流、天理大学A、高田商業高校(男子)



▽決勝トーナメント結果

優勝：高田商業高校(男子) 福岡良剛、徳永明飛、田中智

2位：日置流 新子修平、辻本元威、山口亮二

3位：天理大学A 森下大和、中井正剛、中原祥貴

▽全日本勤労者弓道選手権大会出場チーム

シャープ、関西電力

競技会予定

下記の通り、4、5、6月の競技会を開催いたしますので多くのご参加をお願いします。(競技部：長濱)

◆第9回 奈良県弓道総合選手権大会

(兼 国体成年予選会)

(兼 全日本弓道遠的選手権大会県予選会)

(兼 全国健康福祉祭ねんりんピック県予選会)

場所：橿原公苑弓道場

日時：平成24年4月15日(日)

申込締切日：4月1日(日) 必着

◆第2回 全日本弓道選手権大会 奈良県予選会

場所：橿原公苑弓道場

日時：平成24年6月3日(日)

申込締切日：5月13日(日) 必着

※詳しくは、各支部へ大会要項をメール配信いたします。